

【基本教育科目/社会の理解】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
平和と外交	NLA11_019	選択	2	1・2・3・4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
村上 雅博	教員控室	kango	課題シート内のコメント欄を使用して質問等対応		
授業の目的・概要	<p>日本と国際社会(国連)および発展途上国との関係性⇄相互依存性に基づいた国際関係は、平和国家の生命線です。平和を希求する日本の外交政策の問題を抽出して解決に向けた課題を考え、国際協力(ODA)の役割と意義を明らかにすることから、自身の言葉(文章)で国際社会における日本の未来に向けた論点や意見を主張することができるような能力を身につけていくことが本講義の目的である。</p> <p>日本の国際(外交)関係の要点となっている主要なテーマ(戦争(紛争)と平和、貧困・差別・格差、国際連合、国連憲章、世界保健機構(WHO-UHC)、持続可能な開発目標(SDGs)、日本国憲法、国際貢献、政府開発援助(ODA)、NGO-NPO、人間の安全保障、テロ問題、等)についての歴史認識を踏まえて解説し、知識力に加えて考察力や思考力を高めていく。</p> <p>今、新型コロナウイルス(COVID-19)禍問題で直面している公衆衛生と生命倫理にも接点をもつ授業なので、人の命と健康に直接に係わる看護師や保健師の職業倫理に係わる基本的な人権の問題にも着目する。ヒョクラテス、ナイチンゲール、デュナン、ゼンメルワイス等の医療倫理の原点に係わる事例を含めて解説するので、人間と社会に係わる基本的な問題を解決するための課題を見極める力をつけていこう。</p>				
授業形式・方法	<p>対面授業 <input type="checkbox"/>遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/>遠隔授業(自主学習)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>講義 <input type="checkbox"/>実習 <input type="checkbox"/>実技</p> <p><input type="checkbox"/>PBL <input type="checkbox"/>グループワーク <input type="checkbox"/>その他</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>反転授業 <input type="checkbox"/>ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/>実習・フィールドワーク</p>				
学習上の助言	<p>オリジナルな講義テキストの PPT-PDF ファイル 3 点が講義の前日までに Teams にて配信される。 ⇒①講義テキスト：PPT、②知識問題課題演習(穴あけ形式問題 10 問)：PDF、③キーワード演習・課題シート：WORD。 ⇒質問やコメント等のオープンな議論を歓迎するが、慣れていない方は、WORD シートの最下段の[6]の自由観をツイート形式で活用することも出来る(成績評価対象の一部に組み込まれる)。</p>				
教科書	教科書は指定しない。必要な参考資料プリント(PDF)と講義用の PPT-PDF file を事前に Teams で配信。				
参考書	教科書・参考書に相当する配布テキストは全て無料で Internet-Web に公開されています。展覧の URL: http:// を明記した小テスト(穴あけ問題)形式の参考資料(PDF)が配布される。				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	平和国家の存続基盤となる国際関係のポイントになる知識を修得し、役割と意義を理解すると共に、生命倫理にも係わる問題を抽出して解決につながる課題について考える力を身につけ、自分の言葉(文章)で論点を主張・説明することができる。		HSU(1)~(6) NS(1)(2)(4)(5)		
②	戦争・紛争と平和・外交の根源的な問題と課題および歴史認識にかかわる深いテーマについて、人間の命に直接に係わる職業人としての一般教養力と自身の根源的な思考能力(考える力)を高めていくことができる。		HSU(1)~(6) NS(1)(2)(4)(5)		
③	コロナ(COVID-19)禍問題に加えて、ロシアのウクライナが重なる歴史的な国際関係の変遷や地域の安全保障問題に対する内容を強化しているので、最先端の世界や社会の重要課題に関してもチャレンジ出来る。		HSU(1)~(6) NS(1)(2)(4)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	プロローグ：今、世界は!“世界百人村”から⇒幸福”とは何か?⇄差別・格差・不平等と戦争	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
2	[A-1] 国際社会と国連 [UN]：世界平和と日本国憲法の原点は国連憲章⇄ロシアのウクライナ侵攻で機能していない国連の根本的な疑問⇒安全保障	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
3	[A-2] 国際社会と国連 [UN]：貧困と格差の問題に取り組む人間開発(UNDP)⇄戦争・紛争+テロの脅威から人々の命と生活を守る⇒人間の安全保障	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
4	[A-3] 国際社会と国連 [UN]：ミレニアム開発目標 [MDGs] から持続的開発目標 [SDGs] へ ⇒ “だれ一人たり残さないために”⇒UHC	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
5	[B-1] 今日の国際関係の背景 [1] ロシアのウクライナ侵攻：ナイチンゲール・看護学とデュナン・赤十字の原点はクリミア戦争 (1853-1856)	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
6	[B-2] 今日の国際関係の背景 [2] 9-19 世紀の世界帝国の宗教対立：十字軍遠征 (1096-1270) 問題とオスマン(トルコ)帝国 (1299-1922) との聖戦と覇権抗争	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
7	[B-3] 今日の国際関係の背景 [3]：今日のロシア-ウクライナ地域紛争と第一次世界大戦の原型となった露・土戦争 (1877-1903)	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
8	[B-4] 今日の国際関係の背景 [4] 戦争の世紀の火薬庫：中東紛争：第二次大戦とイギリスの三枚舌外交+第二次大戦と中東戦争+聖戦：テロとの戦い	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	
9	[C-1] 日本の外交の目的と意義：平和外交の原点は国連憲章と日本国憲法⇄世界で唯一の平和憲法	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	

【基本教育科目/社会の理解】

10	[C-2] 日本の外交の目的と意義：国際社会の平和を築く国際協力のエンジンは政府開発援助；ODA	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4			
11	[C-3] 日本の外交の目的と意義：人間の安全保障⇄基本的人権から平和外交の目的と意義を再考	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4			
12	[D-1] 国境を超えるパンデミックと公衆衛生：世界の歴史を変えた戦争と深く係わる感染症・疫病	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4			
13	[D-2] 国(境)を超えるパンデミックと公衆衛生：戦争と感染症対策から生まれた看護学と公衆衛生学	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4			
14	[D-3] 国境を超えるパンデミックと公衆衛生：先進国と発展途上国が共存し生き残るための国際社会のワクチン国際協調配分計画 (COVAX) の課題	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4			
15	エビローク 日本の国際協力 (ODA) は、なぜ必要か?	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4			
試	定期試験：小論文：40 分間 + 知識問：40 分間						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	30	5	4	1	100
総合 能力 指標	知識・技術力	20	10	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	10	1	0	0	31
	協調性・リーダーシップ	0	0	1	1	0	2
	発表・表現伝達する力	10	0	1	0	0	11
	コミュニケーション力	0	0	1	1	0	2
	取組みの姿勢・意欲	0	0	1	1	1	3
	問題を発見・解決する力	10	10	0	1	0	21
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	キーワードの穴埋め問題形式で小テスト (50 問) を実施<課題演習シート+PPT ファイルから出題>し、基本的な知識修得の達成レベルを最終的にチェック (評価) する。⇒配点比率は 30%				知識問題テストは絶対評価で採点し、論文テストは相対評価を加えて評価し、総合的な成績表=相対順位ソート表を迫記して事務宛てに通知する。
	②	✓	論文試験 (800 文字) では、「問題」の所在を抽出し、その問題を解決するための「課題」について考えて目的や必要性や意義を理解して総合的に考察する力がどの程度ついてきているかを評価する。⇒配点比率は 30%				
	③	✓	Teams (資料：ファイル) にアップロードされている当日の「課題演習シート (キーワード・所感+知識問題)」に取り組み、24:00 まで WORD ファイルを送信する。内容は重要と考える順でキーワードを 3 つ (①,②,③) 選び、その中で最も大切だと自身が評価する No.① キーワードについて、なぜ興味をもち重要だと考えたかの主な理由を 90~100 字の文章に所感としてとりまとめる。量 (文章・文字数) と質 (内容レベル) の両方が評価の対象となる。⇒配点比率は 30%。				
レポート (課題演習)	①	✓	Teams (資料：ファイル) にアップロードされている当日の「課題演習シート (キーワード・所感+知識問題)」に取り組み、24:00 まで WORD ファイルを送信する。内容は重要と考える順でキーワードを 3 つ (①,②,③) 選び、その中で最も大切だと自身が評価する No.① キーワードについて、なぜ興味をもち重要だと考えたかの主な理由を 90~100 字の文章に所感としてとりまとめる。量 (文章・文字数) と質 (内容レベル) の両方が評価の対象となる。⇒配点比率は 30%。				Teams/Word の演習シートを毎回プリントアウトして採点し講評を加えたコピーを各位に返却する。適時にコメント欄等に講評を加える。
	②	✓	ディベート形式の討議のための時間を講義の後半にとるので、積極的に参加すること。挙手をして話す・議論することが苦手な方と発言時間が足らなかった方は当日 24:00 までに提出する課題演習シート (WORD) の最下段 [6] にある質問・コメント等自由発言すること (成績評価対象の一部になる)。⇒配点比率は 5%				
	③	✓	授業の展開段階における成長過程をディベートや Teams の質問・コメントや課題演習の内容から評価。←授業への参加姿勢や質疑応答および課題演習レポート (WORD) への取り組み内容 (14) キーワード所感と [6] メモ覧を活用した質問やコメント等) のレベルを含めて総合的にチェック・評価する。⇒配点比率は 4%				
その他	①	✓	授業の展開段階における成長過程をディベートや Teams の質問・コメントや課題演習の内容から評価。←授業への参加姿勢や質疑応答および課題演習レポート (WORD) への取り組み内容 (14) キーワード所感と [6] メモ覧を活用した質問やコメント等) のレベルを含めて総合的にチェック・評価する。⇒配点比率は 4%				適時にコメント欄等に講評を加える。
	②	✓	不確実性が残るコロナウイルス対策と授業の展開・進展の相互関連性を適時に判断する。⇒配点比率は 1%				
	③	✓	社会的な必然性があれば適時にコメント欄等に状況説明を加えるか最後に講評をする。				

【基本教育科目/社会の理解】

備 考	
他 担 当 教 員	なし
教 員 の 実 務 経 験	日本工営（株）国際事業部・コーエイ総合研究所（1976～1997） 高知工科大学（高知県立大学）・環境理工学部・教授（1997～2015）
実 践 的 授 業 の 内 容	国際開発協力および紛争予防と平和構築 地球（地域）環境保全と持続的開発計画 水資源開発と水環境（公衆衛生）管理
そ の 他	コロナウイルス感染の認識と予見に甘さがあったためか、残念ながら After コロナではなく With コロナでパンデミックに対応せざるを得ない局面を経て今日に至っている。2022年2月にはロシア・ウクライナ紛争が勃発し、コロナ禍に加えて悲劇的な混迷と戦闘長期化が続いて、エネルギーや食糧や地域の安全保障にも大きな影響が出ている不透明で不確実な時代が続いている。そこで、昨年度から急速にウイルス(COVID-19)と感染症や公衆衛生の問題に加えてロシアのウクライナ侵攻に関する歴史的な国際関係の変遷や地域の安全保障問題に対する内容を強化したシラバスに改定している。今後の新型コロナウイルス感染症や国際社会の変化状況などによって再度シラバス変更の可能性はある。